

# Victory

NO.12

令和5年3月

宮崎県立宮崎西高等学校・附属中学校図書館



## 一年間の利用状況を振り返る

データ対象期間：2022年4月8日～2023年3月15日

データ項目：年間貸出冊数平均、貸出の多かった本ベスト3、図書館活用時間、公立図書館との連携（資料支援）

### 弥生三月。

1日に高校3年生が学び舎を巣立ち、15日には中学3年生が義務教育の課程を修了しました。

季節はというと、冬眠から覚めた蛙のどこかぎこちない鳴き声、足下の群生したツクシ、見上げた先のぐんと膨らんだ木々の芽…この約2週間の間に春へとバトンが渡されたようです。



さて、今の学年もあとわずかとなりました。生きている限り、私たちは前へと進んでいくわけですが、春のこの時期は、だからこそ「立ち止まって考える」大切な時なのかもしれません。

この1年間、みなさんの学びと成長の過程に寄り添えた図書館であつたら幸いです。利用してくれて有難う。新年度をみなさんとともに歩んでいけるよう、図書館もしっかり充電したいと思います。4月に笑顔で会いましょう。

## 春期休業中の開館のお知らせ

いよいよ春休み！今年度の開館日は下の丸囲みの日となります。

開館時間は、8：20～16：00、貸出対応します。

探究活動、学習、読書、のんびり…大いに活用しましょう。

3/月	火	水	木	金
20	21	22	23	24
27	28	29	30	31

### 貸出平均冊数

中学 22.1 冊

高校 4.8 冊

### 図書館活用

240 時間

### 公立図書館資料支援

県立：107 冊

市立：67 冊



### 貸出ベストブック3

【中学校】

- 『薬屋のひとりごと』  
日向夏著(主婦の友社)
- 『鳥居の向こうは、知らない世界でした』  
友麻碧著(幻冬舎)
- 『天久鷹央の事件カルテ』  
知念実希人著(新潮社)

【高校】

- 『ティターンズの旗のもとに』  
今野敏著(角川書店)
- 『ヴァイオレット エヴァー ガーデン』  
外伝  
(京都アニメーション)
- 『こころ』夏目漱石著(角川、新潮各社)  
\*中・高とも、2位が同数でした。





図書館からのお知らせです。

その1：ま、まさか！  
返却期限切れの本は  
ありませんよね？  
あ…忘れてたという  
あなた、即返却を。



借りた本の後ろ  
に、返却期日表が  
貼ってあります。  
確認してね。

その2：春休み中に読む本の準備はOK？



長期貸出を行っています。

- \*貸出冊数：ひとり10冊
- \*貸出期間：3月29日（水）まで

その3：何を読んでいいかわからないあなたへ。

4つの方法が、きっとあなたと本の出会いの瞬間をお約束。

- ◎図書委員がすすめる「本が嫌いなあなたへ贈る一冊」コーナーの本を見よ。
- ◎図書館の司書や先生に相談する。
- ◎新着コーナー、特設コーナーをチェック。
- ◎ただただ書架（本棚のこと）を散策して、並んでいる本の背表紙を眺めてみる。



今年度最後の

棚からひとつかみ



「本校の数学の神様が贈ります」

この春、オイラーを  
読んでみませんか？  
数学の美しさに開眼。



『オイラーの贈物 人類の至宝  $e^{i\pi} = -1$  を学ぶ』吉  
田武著（東海教育研究所）410頁

神様は、よく図書館を訪れます。そして、読んでいる  
本について楽しく語ってくれます。今回はこの春卒業し  
た高3生に最後の授業で紹介したという本。

神様曰く「高校2年生が終わるまでにぜひこの本を讀  
んでほしい。もちろん、中学生も。いずれ受験を迎える彼  
らにとってこの本は数学のすべてが織り込まれたまさに  
贈物」。オイラー…数学苦手な私でさえも知っている数  
学者。神様はさらに「大学入試問題でもよく取り上げら  
れるのですよ」と、だから読みなさいではなく、問いを  
読み解き、解を導くとはどういうことなのかを習得する  
のに「読書」は必須だと静かに話されるのでした。



扉を開こう。新たな世界が君を待っている。

あなたと本との親密度はどのくらいですか？

なぜこんな問いかけをするかと言うと、毎年のようにもっと早くから本を味方  
につけておけばいいのと感じるからです。特に高校3年生になる前までに。

私たちは、考えるときに言葉を使っています（当たり前ですが）。その言葉の  
すそ野を広げる手段として、実体験は大きく作用します。そして、体験したこ  
とをよりふさわしい言葉で表現するには、どれだけ自分の中に言葉の引き出し  
をたくさん持っているかということが関係してくるようになります。幼いころ  
は身近な家族の言葉かけがあるでしょう。成長し、読むことが当たり前の今、  
自らの意思で「本」を読むことは、豊かな言葉と出会い考えるきっかけとなり  
ます。10代の今だからこそ、読むことを大切にしてほしいのです。柔らかく  
しなやかな感性で出会えるチャンスだから。